

岩手県職労

号外

昭和34年4月1日
第3種郵便物認可

定価1部2円

発行所
盛岡市内丸10番1号
岩手県庁内
岩手県職員労働組合

No.2409

2017年

6月12日

2017運動方針が確立！当面する退職手当維持・改善要請署名と人員確保闘争に向け全力を挙げよう！

県職労第118回定期大会 = 結成70周年・原点である「職場からの運動」を = 賃金・手当改善 人員確保 政治闘争 …など = 多くの代議員の発言で方針補強 = 運動方針確立！ 当面する「退職手当引下げ阻止」・「人員確保闘争」に全力を！

6月10日、県職連合第22回・県職労第118回定期大会を開催し、2017年度運動方針と人勧闘争、退職手当引下げ阻止、人員確保闘争をはじめとした当面の闘争方針を確認した。賃金・手当の改善、人員要求、サービス残業撲滅・長時間労働の是正などの職場改善要求、労働安全衛生の確立、人事異動対策、公舎等の確保と赴任旅費の改善など多くの代議員から発言があった。

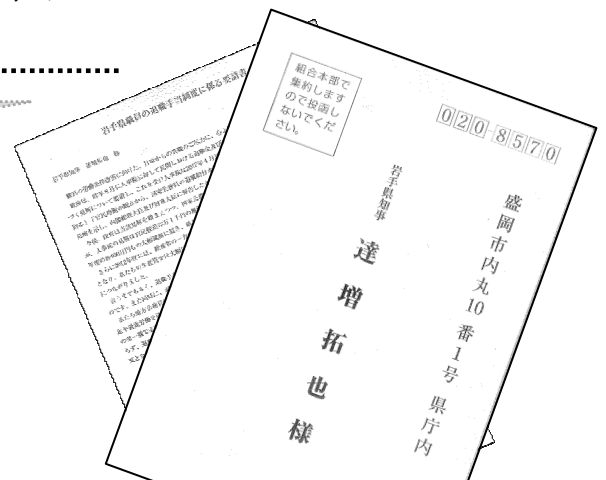


当面する人勧・人員確保闘争に向け団結ガンバロー

代議員からは、「交通機関利用の全額支給上限額の改善を勝ち取ったが、未だ諸手当の自己負担が多い。引き続き取り組みの強化を」、「沿岸部では職員の居住環境が厳しい。住環境整備の取り組み強化を」、「職員の実情に配慮した人事異動の早期内示を」など職場環境改善に向けた取り組み強化の方針補強を受けた。運動方針は賛成多数で確認された。県職労は、当面する課題の前進に向け、全力を挙げ取り組む。(大会詳細は後日機関紙に掲載します)

当面の闘争方針① 退職手当引下げ阻止！ = 要請署名の最大限の集約を =

人事院による公務員の退職手当引下げ見解(約78万円)を受け、政府では国家公務員の退職手当引下げの検討を進めている。県の退職手当は国準拠であり、引下げとなれば退職後の生活設計に深刻な影響を及ぼすばかりか、モチベーションの失墜、人材確保がさらに困難となる。このため、6月中を期間に手当水準の維持改善のための要請署名に取り組んでいる(1人5筆)。最大限の集約をめざそう。



家族の分も書きましたか？1人5筆目標です。組合員以外の職員にも取り組み要請を。

当面の闘争方針② 職場を基軸とした人員確保闘争を 定数要求時を見据えた支部・分会の職場要求を 二期付職員の任期の定めのない職員の採用に係る支部決議の取り組み提起

4月時点の欠員は123人と依然として大規模欠員が解消されないなか、震災復興や本格化する台風10号災害復旧など業務量は増す一方で、各職場で人員が不足している。このため、各支部・分会において「分会基礎調査」をもとに職場点検をし、職場からの人員要求を進めることが重要となる。

本部は7月7日に「人員確保統一要求書」を提出し、人員確保闘争を本格化させる。並行して支部・分会からの要求の相乗効果により、要求実現の流れを構築するため、8月～9月に当局が行う定数要求時を見据えて、支部・分会で必要な人員数や改善を求める事項を集約し、管理者（振興局長・所属長等）に改善を求める取り組み追求を提起した。

併せて、今年度の任期付職員の任期の定めのない選考採用に関し、5月26日当局は一般事務5人、総合土木若干名の募集を行う募集要領を示したが、早期の欠員解消や各職場からの要望とは程遠い状況にある。よって、選考採用枠の拡大、勤務実績を十分把握し評価すること等を柱とした要請書を7月7日に当局に提出するが、職場実態を踏まえた要求とすべく、6月に全支部・分会による決議文を集約する。各支部での取り組みをお願いする。

岩手県任期付職員経験者選考採用のさらなる拡充を求める決議

東日本大震災から6年が経過しました。震災直後、被災者の求める支援を十分に行うことができなかった背景として機動的なマンパワー不足が県議会でも指摘される中、この間の復旧・復興業務は任期付職員との二人三脚により、何とか進めてきたもので、

一方、現在の私たちの職場は、欠員が123人と依然と大きく、この状況は本年からスタートする「第3次東日本大震災津波復興実施計画」の着実な遂行に大きな障害となっている状況です。震災からの復興はまだ道半ばであり、私たちは早期の欠員解消による業務執行体制の確立とあわせ、希望する任期付職員が任期の定めのない職員として選考採用されるよう求め続けてきました。

しかし、これはど人員不足が深刻化している実態を顧みず、昨年度と同様に今回の岩手県任期付職員経験者職員選考試験における採用予定人数は非常に少なく、私たちの要求には程遠い上に、職場の課題解決に消極的で不十分な姿勢であると云わざるを得ません。

さらに、任期付職員のこの4年間の勤務実績は職場の上司・同僚も認めるところであり、今後もその知識と経験は県行政に確実に寄与していくものと考えます。今後の県政を安定的に維持・継続させていくためにも極めて有効といえます。

以上のことから、今回の選考試験においては、受考者の勤務実績を十分に反映させた上で採用決定されるとともに、職場の声をしっかりと受け止め、採用枠の拡大を引き続き検討するよう求めることを、職場の総意として決議します。

2017年6月 日

岩手県職員労働組合 支部
支部長 印

【私たちも要請します】

分会名	分会長名
	印
	印
	印
	印
	印

任期付職員経験者選考採用拡充の決議文

県職連合結成10周年・県職労結成70周年記念レセプション 達増県知事出席・お祝いと激励のメッセージを披露



あいさつする達増知事

定期大会終了後、県職連合10周年・県職労70周年記念式典・レセプションを開催。達増県知事をはじめ、県職労推薦県議などの多数の来賓が出席し、お祝いと激励のあいさつを受けました。

達増知事からは、県職員が日頃から県政推進に尽力していることに謝意を示すとともに、県職員の処遇改善のために県職労の意見にも耳を傾けていくとのあいさつを受けました。レセプションでは県職労バンドによる演奏で盛り上げ、盛会裏に終了しました。



県職労バンドの演奏・知事（手前）も観賞

宮古市議会議員補欠選挙 畠山 茂さん 推薦決定

6月18日告示・25日投開票の宮古市長選挙と並行して宮古市議会議員補欠選挙（定数5）が行われる。県職労では、JP労組出身・元連合岩手宮古地域協議会議長の「畠山 茂」さん（50歳・新人・無所属（社民党推薦））を推薦決定した。憲法理念を活かした政治の実現、勤労者の声を市政に反映し、労働環境の整備を政策に掲げています。組合員はもとより、友人・知人への支持拡大をお願いする。